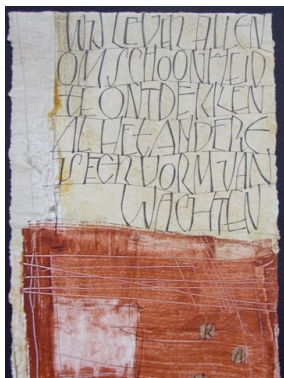


イヴ・ルテルム (Yves Leterme) ワークショップ 2009年7月



クラスA：東京：7月3日～5日 (金・土・日) 3日間 10:00～16:30
Gestural Writing [ジェスチュラル・ライティング]
会場: 未定 (23区内); 参加費: 25,000円; 定員16名

クラスB：名古屋:7月7日・8日 (火・水) 2日間 10:00～16:30
Experimental Layout [実験的レイアウト]
会場: 愛知県勤労会館「つるまいプラザ」第二講習室;
参加費: 17,000円; 定員16名



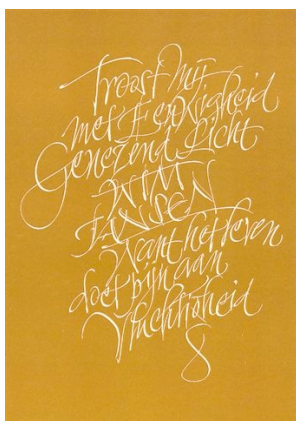
クラスC：東京：7月15日・16日 (水・木) 2日間 10:00～16:30
DRAWN CAPITALS AND MODERN VERSALS
[描いた大文字とモダン・ヴァーサル]
会場: 未定 (23区内); 参加費: 17,000円; 定員16名

J-LAF主催「日本ベルギー・レターアーツ展」に合わせて、出展者の一人イヴ・ルテルム氏が初来日され、日本で待望のワークショップをしていただくことになりました。J-LAFにとっても、海外カリグラファーによる初めてのワークショップとなります。

各クラスとも通訳はつきません。講師は聞き取りやすい英語を話されますが、英語に不安のある方には参加者どうしてサポートしあうようにしたいと思います。ご心配な方は申込み時にお知らせ下さい。

上記費用の他に、講師から配られる教材のコピー費用をお支払いいただく場合があることをご了承下さい。

以下に、各クラスの概要と持ち物、講師のプロフィール、申込み方法などを説明します。ご覧の上、申し込み頂きますよう、お待ち申し上げます。



***** クラス概要 *****

☆ クラスA： GESTURAL WRITING [ジェスチュラル・ライティング]

良質のジェスチュラル・ライティングには、前もっての熟慮、しなやかな心と手首、そして細部を見る鋭い目が特に必要とされます。このレタリングクラスでは、参加者はジェスチュラル・ライティングの隠されたルールを学び、コントロールのあるすばやさをも身につけ、創造性を刺激し(レターフォーム、つなぎ、スペーシング、文字の書き方に関して)、フォームに一貫性を持たせるといった目的を持った練習をします。スペーシングやペンアングル、プレッシャー、バリエーション、リタッチングなどの様々な側面を検討し、デモンストレーションしていきます。最後に各自の文字を批評の目で見ること、参加者は今後の上達へ向けていくことができます。(レベル: イタリック書体を理解されていることが必要です。)

持ち物

- 1 シャープペンシル (芯は0.5 mmでHB程度)
 - 2 スピードボール C5, C4, C3サイズのニブ
 - 3 耐水性ではない黒インク (例、ペリカン)
 - 4 インクがにじまずにシャープな線が描ける、A3サイズの安い滑らかな練習用紙をたくさん (100枚程度； コピー用紙で十分)
 - 5 良質の紙を数枚 (例、BFK Rives) それほど大きくなくてよい
 - 6 顔料インク系の製図用黒ペン (0.05 mmと0.1 mm)
(Sakura Micron Pigma, Pilot Drawing Pen, Mitsubishi PINなど)
 - 7 修正用の白い絵具 (Dr. Martin Bleedproof white、白ガッシュなど)
 - 8 定規
- 以上の用具の他、次のものをご持参いただいても結構です。
丸筆、筆ペン、透明水彩絵の具とガッシュを数色、ルーリングペンやコーラペンなど

☆ クラスB： EXPERIMENTAL LAYOUT [実験的レイアウト]

このワークショップでは、伝統的なレイアウトのルールから離れてみましょう。既存のレイアウトのルールにしばられていては、新たなカリグラフィーの道へ踏み出すことができません。狙いの異なる練習をいろいろと行っていきます。大胆に試すことで、新しくオリジナルなコンポジションを考え出せることが理解いただけるでしょう。こうした作業を行うことで、紙の上で起こることに常に注意を払い、次々と現れる問題への対処方法を見つけることができるようになります。グラフィックな目を養っていき、実験的なレイアウトに隠されたルールを学んでいきます。こうした作業に全く知識のないことは、不利ではなく、むしろ有利です。

持ち物

- 1 紙のストレッチ用水張りパネル (40 x 60 x 1.5 cm程度) 2枚
 - 2 水彩紙を数枚 (ひどく粗目ではないもの) BFKリープスは可。小さめのサイズで作業します
 - 3 スポンジ、水張りテープ、水入れ (スポンジを浸すため)
 - 4 いろいろな書くためのツール (ポインテッドブラシ [丸筆] を含めて下さい)
 - 5 水彩絵の具、ガッシュ、黒インク、ウォルナットインク(*), マスキング液(*)
 - 6 一對のL棒 (マットボードなどを適当な幅と長さのL型にカットしたもの2つ)
 - 7 色々な長さのテキスト (文章)、内容は問わず
 - 8 ペーパータオル (インクや絵の具を浸すのに使用)
- (*印の材料は、お持ちでない方には、当日お分けします)

☆ クラスC： DRAWN CAPITALS AND MODERN VERSALS [描いた大文字とモダン・ヴァーサル]

白い紙に黒インクで書く、レタリングのクラスです。良いプロポーシオン作りや処理などの方法による工夫に焦点を当てます。扱うのは、描かれた文字です。どうすればビルトアップキャピタルにトラヤヌス・ローマン書体のタッチ、或いはヴァーサルのタッチを与えることができるかを見ていきます。紙の上での微妙なタッチを得るためのトリックややり方をお見せした後、いろいろな目的での練習を系統的に行うことで、描かれた文字の無限の可能性と変化を発見することができるでしょう。

持ち物

- 1 シャープペンシル (芯は0.5 mmでHB程度)
- 2 スピードボール C6, C5, C4サイズのニブ
- 3 耐水性ではない黒インク (例、ペリカン)
- 4 インクがにじまずにシャープな線が描ける、A3サイズの安い滑らかな練習用紙 (コピー用紙でもOK) 10~20枚
- 5 良質の紙 (例、Waterfordなどの水彩紙) を数枚 (小さめのサイズでOK)
- 6 顔料インク系の細めの製図用黒ペン数本 (0.05 mmと0.1 mm)
(Sakura Micron Pigma, Pilot Drawing Pen, Mitsubishi PINなど)
- 7 修正用の白い絵具 (Dr. Martin Bleedproof white、白ガッシュなど)
- 8 定規

Yves Leterme (イヴ・ルテルム) プロフィール

1959年生まれ。ラテン語とギリシャ語の教師を職業とする彼は、1991年にカリグラフィーを始め、間もなくプロディ・ノイエンシュヴァンダーに師事。自分の殆どのトレーニングはこの恩師のおかげとしているが、その後、トーマス・イングマイヤー、ピーター・ソートン、ゴットフリート・ポット、カール・ロアーズなどの著名カリグラファーにも学んでいる。

現在、彼のジェスチュラル・スタイルは国際的に有名だが、彼はカリグラフィーを学び始めた頃から既にジェスチュラル・スタイルの確立に多くの時間を費やしていた。他にも、繊細に描かれた大文字や、手の込んだ下地に独特なスタイルで構成されたものが彼の作品の特徴である。

フランドル地方でコンテンポラリー・カリグラフィーを教えるクラスであるホワイトスペース・システムの共同創設者、指導者、チーフ・マスターでもある。

最近、フリーランス・カリグラファーとして、様々な委託作品や展示会のための作品を製作している。教職が休みの際は、カリグラフィーを教えるために世界各地を旅する。

WEBサイト：www.yleterme.be

申込方法：電子メールのみの申込みとします。

下記事項を記入した電子メールを下アドレスに送信下さい。

- 1) 受講希望クラス (複数クラスの申込みも可能ですが、その場合には希望順もあわせてご記入下さい)
- 2) 氏名(日本語とローマ字)
- 3) 住所と電話番号
- 4) 電子メールアドレス

送信先メールアドレス： workshop@j-laf.org (WSに関する質問、ご意見もこのアドレスまで)

申込締切り日：5月20日(水) 但し、定員に空きがある場合には、その後の申込みも受け付けます。空きの有無はJ-LAFウェブサイトでお知らせします。

参加者決定方法：上記締切り日までの申込み人数が定員を上回った場合には、抽選により受講者を決定し、申込まれた方全員に6月5日ごろまでに電子メールで結果をお知らせします。受講者は、その後、お知らせする期限までに参加費用をお振り込みいただくこととなります。

キャンセル：期限までに振込みがない場合には、受講はキャンセルとみなされて、ウェイティングの方に順に連絡させていただく場合がありますのでご注意ください。ご旅行など、振込が間に合わない事情のある場合には、前もってご連絡をお願い致します。振込後のキャンセルは原則として返金いたしません。ただし、次の受講者がいる場合には、1000円を差し引いた残りの金額をWS終了後に返金いたします。